

令和2年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立桐蔭中学校

学校長名： 木皮 享 印

目指す学校像	自ら人生を切り拓く人を育てる学校
育てたい生徒像	改革への情熱と伝統を重んじる心を兼ね備えた生徒

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 桐蔭FD活動による授業改善を実施する。基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成及び主体的な学習態度を育成する授業の充実。 キャリア教育と有機的に関連つけた道徳教育の充実。 様々な課題を抱えている生徒への組織的な対応の推進。体的活動の活性。
--------	--

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	(60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

本年度の重点目標 (学校の課題に即 で、具体的かつ	1 生徒の安心・安全を最優先に実現、維持するための取組の充実
	2 基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成及び主体的な学習態度を育成するための教員の更なる指導力向上
	3 キャリア教育と、キャリア教育と有機的に関連つけた道徳教育を充実 中高一貫教育の充実・進化に向けた具体的方策の確立
	4 生徒の自主的・自立的な生活習慣・学習習慣の確立

学校評価の方法の公表の方法	保護者に対して自己評価及び学校関係者評価の結果を知らせるとともに、本校ホームページにおいても広く公表する。
---------------	---

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					令和2年度評価(3月31日現在)		
重点目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標			
1	避難訓練や防災スクール等の災害発生時を想定した行事を実施しているが、さらに防災意識と緊急事態発生時の主体的な行動を促すべく内容の充実を図る。また、コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて、専門家の助言を取り入れつつ、本校の現状に合わせて、安心・安全な学校を実現する取組を行う。	緊急事態発生時の対応や危機管理体制が整備できているか。 感染拡大防止を意識した環境整備ができていないか。 防災・減災意識や危機管理意識が身についているか。	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師による感染症対策講座を聴講する。 アレルギー疾患についての正しい知識の習得と対象生徒への具体的な対応を確認する。 講習会による AED の取り扱い方や心肺蘇生法を学習する。 災害発生時の迅速・適切な行動を意識した防災避難訓練を実施する。 「防災スクール」により、災害時に自他の安全を守るための主体的行動を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員の、感染症対策やアレルギー疾患対応についての正しい知識と適切な対応法の習得状況 全職員の AED の取り扱い方や心肺蘇生法の習得状況 予め示した避難経路に基づき、全校生徒が迅速・適切な避難をすることができるか。 生徒の防災意識の向上と、主体的に考え行動する力を育成できているか。 			
2	基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成を両立させる授業づくりを行ってきた。全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査において、全般的に正答率が高いが、高い能力を有した生徒一人一人の個性と学力を最大限に伸ばす指導を更に充実させる必要がある。そこで、主体的・対話的な活動を通して深い学びに至り、生徒が自発的に学習に取り組む授業改善を進める。そのツールとしてクラウド学習やオンライン学習を充実させる。	習得すべき基礎・基本を把握し、思考力や表現力の伸長を目指した授業が各教科において展開されているか。 主体的・対話的で深い学びに至る授業を行い、生徒が自発的に学習を進めているか。 問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を行っているか。 高い能力を有した生徒一人一人を伸ばす指導を学校全体で取り組んでいるか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査に桐蔭STの手法を生かし、迅速かつ適切にフィードバックする評価方法を充実させ、日々の授業の改善に生かす。 学習活動の質を高め、効果的な指示・発問ができるよう授業改善のPDCAを有効に機能させる。 問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を有効に活用し、自発的・主体的な学習に取り組むよう工夫する。 生徒の発表や活躍の機会を内外に多く持ち、主体的に学習に取り組ませよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査毎にフィードバックする評価の実施状況 フィードバックに基づく授業改善の実施状況 学校評価に係るアンケートの結果分析の状況 PDCAを有効に機能させた授業改善の実施状況。 問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を活用した自発的・主体的な学習の取組状況。 全国学力・学習状況調査質問紙の結果分析の状況 発表、対話、討論のある授業の実施状況 各種発表会、コンクール等への出場・出品、入賞数 			
3	進路指導計画の充実と系統的实践によって、望ましい勤労観・職業観の育成や人生の目標を見据えたキャリア教育を実践してきた。 継続したキャリア教育の実践と、生徒の心を育む道徳教育を関連付け、更なる充実を図る。 新たな普通科のシステムを有機的に機能させるための合意形成を進めていく必要がある。その際には、キャリア教育を核とした中高一貫教育の現状の改善点を模索し、取組を模索する。	学年の発達に応じた進路指導計画が、着実に実行されているか。 キャリア教育と関連付けた道徳教育、特に道徳の時間の授業を実践しているか。 FD・キャリアの取組を核とした中高一貫の具体的な検討が進んだか。 混合クラスでの中高一貫生の課題と長所を分析し、中学校での指導に生かしているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリア桐の葉Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の各プログラムを実施し、自らの学びを省察的に振り返りさせる工夫をする。 道徳教育内容22項目の偏りのない指導に努めるとともに、キャリア桐の葉のプログラムと関連付けた指導を充実させる。 エンパワーメントプログラムの理解を深める現職教育や生徒・保護者への説明会を行う。 中高の教職員による情報・意見交流や公開授業による課題意識を共有し、6年間のキャリア教育を見通して、中学校段階で生徒に指導すべきことを明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事後学習の充実度及び単元末振り返りシートの結果 22項目を全て扱うことと、キャリア教育付けた力30とともに、キャリア桐の葉のプログラムと関連付けた指導の実施状況 エンパワーメントプログラムの理解を深める現職教育や生徒・保護者への説明会の実施状況 FD・キャリア会議等での情報意見交流会の実施。お互いの公開授業の実施・見学状況 生徒指導に係る情報交換会の実施状況 			
4	生徒が抱える課題が複雑で、専門家の助言が必要なケースが多い。抱える課題が表出していない生徒でも、個に応じた適切な支援ができるよう、アンケート等を利用した現状把握と指導の改善に取り組む必要がある。 生徒の発達段階を踏まえ、丁寧な指導を行いつつ、自立を促し、積極性を育てる意識を職員共通のものとする必要がある。	課題を抱えた生徒に加えて課題が表出していない生徒の状況を把握し、早期対応・指導の充実のため、各種アンケートを有効に活用したり、ケース会議を開いたりしているか。 生徒の自立を促し、積極性を育てるために、生活ノートを有効に活用したり、個人面談を行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート、QU、健康観アンケートを活用し、課題を抱えた生徒の早期発見に努める。 アンケートの結果についてはスクールカウンセラー、教育相談主事等、専門家の助言を受け、教職員の理解を深める。 「5日間シート」を活用し、課題を抱えた生徒の状態を記録・共有し、指導に生かす。 生活ノートの点検や個人面談を行い、QU、健康観等のアンケートの結果を踏まえて、生徒の自立を促す指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議の実施状況 生活ノートの点検と機会を捉えた個人面談 いじめアンケートの実施状況とその後の生徒への働きかけの状況 QU、健康観アンケートの実施状況とその後の生徒への働きかけの状況 			

学校関係者評価	
令和3年3月日実施	
学校関係者からの意見・要望・評価等	

